

榛原高校地域創造探求授業について

1 背景と実施概要

榛原高校は 2019 年度から、文部科学省による「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローカル型）」の指定、続いて県事業「オンリーワン・ハイスクール」の指定を受け、普通科と理数科の全校生徒を対象としたプログラム「HAF プロジェクト」を開発しています。

現在は、普通科の学校設定教科「地域創造探求」、普通科と理数科の希望者を対象とした地域連携事業や国内外への研修事業をとおして、積極的に社会参画しようとする生徒を育成しています。

本年度は地域創造探求のテーマ別講習として、公共交通が取り上げられ、名古屋大学の加藤教授が講師として講話を行いました。

2 実施報告

まず、加藤教授から公共交通の仕組み、現状と課題、地域が主体となり交通改善を行った事例の紹介など約 40 分の講話をを行い、その後、11 人の学生が 3 ～4 人グループでグループワークを行い、各グループから意見の発表、質疑応答を行いました。

3 学生からの意見、質問

- 公共交通へのアイデアや意見をまとめたとして、学生である僕らはどこに意見を持っていったら良いのか。
- 吉田町の停留所にあるようなバスの待合室を設置してほしいが、設置費用はいくらくらいになるのか。
- 都会はなぜ公共交通の利用者が多いのか。

探究班	印象に残ったキーワード・キーフレーズを3~5つ	今日のテーマ別講話について、学んだこと・気づき・感想などを書いてください。	①講話: テーマ考える	②GW: テーマ考える	③FWの意義理解	④主体的な取組
8交通	移動自己責任社会、おでかけウェルカム社会、一所懸命、集まりたい場所づくり、おでかけ	公共交通機関がなくなってしまうと、車を運転できない子供や高齢者がとても困り、高校生の場合は通学ができなくなってしまい、通学する手段がなくなると高校は廃校になるかならないかの問題が生じてしまうことがわかりました。私は将来、JRに就職したいと思っていたので、これからはバスや鉄道などの公共交通機関が使われなくなってしまい、廃線などの可能性もあるという課題が今後、生じていくことが分かりました。多くの人に公共交通機関を使ってもらうためにはどうしたら良いかを地域ごとの魅力や公共交通機関の良さを活かしながら、考えたいです。公共交通機関が基本、赤字のには驚きました！現実的に考えると、安い運賃だったら、赤字になってしまう。大赤字から赤字にできるように実際にバスや電車に乗ったり、友人に宣伝したりするようにします。 今回は貴重な講話をしていただきありがとうございました！	4	4	4	4
8交通	移動自己責任社会、おでかけウェルカム社会、路線バス勝利の方程式、一所懸命	私は、最近交通について興味を持ったばかりです。今まで交通のことを何も知らず、興味を持つことも関心もなく生きてきました。ですが、今回の講話を聞いて、交通についてたくさんのこと学び、今ある問題を解決するのが難しいことを知ってなんとかしたいと強く思いました。さらに、交通ってすごく面白いな！なんか楽しい！と感じました。本当にこんな体験ができるととても良かったと心から思います。	4	4	4	4
8交通	公共交通	思ったよりも複雑な状況がからんで成り立っていることがわかった	3	3	3	4
8交通	少子高齢化 赤字 賃金の減少 集客不足	バスが無くなっただけでこれほど地域の生活に影響が出てきてしまうのかと驚いた。今回の講話で、改めて公共交通機関の重要性を認識した。	4	3	3	3
8交通	交通機関でいろいろ変化がおこるおでかけすることが大切 地域住民からの意見をどんどん言う	地域住民の意見を言うことでもっと交通機関が良くなると言うのをきいたから自分も気づいたことがあつたら意見を出してみたいなと思った	4	3	3	3
8交通	一所懸命、地域公共交通機関、自動運転	思っていたより公共交通機関が複雑で少し変化することによって色々なことが起こることを知って面白かった	4	4	4	4
8交通	交通事故責任社会、交通ウェルカム社会、負のスパイラル	もともと交通について詳しくは知らなかったけど交通のことについて詳しく知ることができてからの探求に活かすことができると思うのでよかったです。ほとんどの交通会社は赤字で苦しく市などと協力していることがわかった	4	3	3	3
8交通	負のスパイラル 補助 黒字 公共交通機関	お出かけ好き嫌いではなくできる出来ないで考えたら交通は大事だし交通で高校が廃校になったり大きな影響を与えることがわかった。	4	3	3	3
8交通	市同士の協力が必要ということ 交通自己責任社会 おでかけウェルカム社会 負のスパイラル	今まで交通の課題は見つけることができたけど具体的な解決策は思いつくことができなかった。だけど今回の講話で実際に交通のことにより便利にするために色々な対策を行なっていることがわかったのでそれを活かして自分たちも具体的な解決策を考えるようにならうと思います。現代では車を買うことができる人が多くなり、東京や大阪以外の県では公共交通機関が あまり発達していない車で移動することが便利になっている状況なので公共交通機関を使いやすくするには車を使うのではなく公共交通機関をどう利用しやすくするかが課題だと思いました。	4	4	4	4